なめりかわ
市議会だより
No.177
平成27年２月１日発行
滑川市議会
☎(076) 475−2111
E-mail:gikai@city.namerikawa.lg.jp

◀公共施設のあり方検討特別委員会行政視察
平成26年10月21日～22日

並行在来線等問題特別委員会行政視察▶
平成26年10月27日～28日

平成26年12月定例会一覧

開会　12月5日
閉会　12月19日　会期15日間

○本会議（主な内容）
5日　会期の決定
決算特別委員会委員長報告・質疑・討論・採決
特別委員会の設置及び委員の選任
選挙管理委員会の委員及び補充員の選挙
提案理由説明
補足説明
11日　代表質問・一般質問
12日　一般質問
議案の委員会付託
19日　委員長報告・質疑・討論・採決
追加提案
提案理由説明・採決
議員提出議案
提案理由説明・質疑・討論・採決
特別委員会の正副委員長の選任
閉会中の継続審査

○委員会
5・12・19日　議会運営委員会
15日　総務文教委員会
16日　民生環境委員会
17日　産業建設委員会

○議案の審議結果

予算（原案可決）	4件
条例（原案可決）	1件
その他（原案可決）	2件
その他（原案認定）	8件
その他（原案承認）	1件
人事（原案同意）	1件
議員提出（原案可決）	3件
合計	20件

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は３月です。

議会改革検討特別委員会を設置

～議会の改革に係る調査研究～

12月定例会

市議会12月定例会は、12月5日から19日までの15日間の会期で開催されました。

審議した案件は、継続審査となっていた「平成25年度滑川市一般会計歳入歳出決算認定について」外8件や平成26年度滑川市一般会計補正予算をはじめとする予算関係及び条例等の市長提出議案16件（追加議案1件を含む）、議員提出議案3件及び閉会中の継続審査の合計20件です。

審議の結果、市長提出議案の16件は原案どおり可決、認定、承認及び同意されました。また、議員提出議案の3件、閉会中の継続審査につきましても原案どおり可決されました。

本会議

◇12月5日に本会議を開き、まず会期を19日までの15日間と決めた後に、決算特別委員会の委員長報告を受け、「平成25年度滑川市一般会計歳入歳出決算認定について」から「平成25年度滑川市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について」までの9議案を認定、可決しました。

その後、議会改革検討特別委員会の設置を決め、委員の選任を行いました。

次に、選挙管理委員会の委員及び補充員の選挙を行いました。

引き続き、平成26年度一般会計補正予算をはじめとした予算及び条例等の市長提出議案6件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長から議案の補足説明がありました。

◎なお、議会改革検討特別委員会の委員は、次の議員に決まりました。

（◎委員長、○副委員長）

◎古沢　利之　○中川　勲
竹原　正人　谷川　伸治
水野　達夫　原　明
中島　勲　浦田　竹昭

◇11日、12日は代表質問及び一般質問が行われ、11名の議員が市政一般に対する質問及び提出案件に対する質疑を行いました。

質疑終了後に、市長提出議案を所管の各委員会へ付託しました。

◇最終日の19日には本会議を再開し、総務文教・民生環境・産業建設の各常任委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告があり、採決の結果いずれも委員長の報告のとおり賛成全員で可決または承認されました。

続いて、市長から人事案件として、滑川市公平委員会の委員に**蜷川達**氏の選任を同意としました。

引き続き、議員提出議案3件の提案理由説明の後、採決を行い、いずれも可決されました。

その後、議会改革検討特別委員会の正副委員長の互選結果が報告されました。

最後に閉会中の継続審査を決定して、12月定例会を閉会としました。

選挙管理委員会委員・補充員の選挙結果

委　員

野末　武（中新）
岩田　智昭（坪川）
山岸　秀子（菰原）
蜷川　聡子（常盤町）

補充員（補充順位順）

蜷川　稔（加島町）
赤坂　俊夫（本江）
福田　作一（大崎野）
林　恵彰（笠木）

第3回臨時会

平成26年第3回市議会臨時会は、会期を11月26日の1日間と決めた後に、滑川市の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定についてなどの市長提出議案2件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

次に、市長提出議案を所管の総務文教委員会へ付託しました。

その後、本会議を再開し、総務文教委員長から付託議案の審査結果の報告があり、採決の結果、委員長の報告のとおり、賛成全員で可決され、第3回臨時会を閉会としました。

日誌

26年11月

4日 総務文教委員会協議会
福井県小浜市より行政視察
並行在来線に関する
6日 4市2町要望（富山市）
7日 並行在来線に関する
4市2町要望（新潟市）
10日 議会運営委員会協議会
定例議員協議会
11日 決算特別委員会
12日 決算特別委員会
13日 決算特別委員会
17日 議会運営委員会
決算特別委員会・講評
18～19日 滑川中新川地区広域情報
事務組合先進地視察
（長野県）
19日 全国市議会議長会
社会文教委員会（東京都）
20日 国保制度改善強化全国大会
（東京都）
21日 公共施設のあり方検討特別
委員会協議会
25日 産業建設委員会協議会
26日 全員協議会
第3回臨時会
27日 安全・安心の道づくりを
求める全国大会（東京都）
朝日滑川間国道・バイパス
建設促進期成同盟会要望
（東京都）
28日 議会運営委員会

12月

2日 富山県東部消防組合議会
全員協議会（魚津市）
富山県東部消防組合議会
臨時会（魚津市）
5～19日 定例議員協議会
12月定例会
19日 議会報編集委員会
議会改革検討特別委員会
協議会

27年1月

9日 産業建設委員会協議会
総務文教委員会協議会
定例議員協議会
議会改革検討特別委員会
協議会
14日 富山県市議会議長会
正副議長研修会（富山市）
16日 議会報編集委員会
22日 議会報編集委員会
29～30日 全国市議会議長会社会文教
委員会正副委員長会議・
視察（福岡県）
31日 「北方領土の日」記念大会
（富山市）

一代表 一般 質問

12月定例会では11名の議員が質問を行い、38項目について市当局の見解を求めました。

質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

（すべての質問等詳細を記録した会議録は、3月中旬頃までに、市立図書館に配付する予定ですのでご利用ください。また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されておりますので、ご利用ください。）

※質問者の最後のQは、掲載外の質問事項です。

代表質問

1 平成27年度予算編成にむけて
2 教育環境の整備について
3 観光振興について

（会派＝会派自民） **原 明 議員**

Q 東福寺野自然公園の駐車場の整備計画は。

A 伊東教育長 高齢者、身障者の方々の負担軽減を図り市民の要望に応えるため、駅舎前の桜の広場に駐車場を整備いたしたいと考えている。

Q 北加積、東加積小学校には、調理実習を伴う家庭科室がいまだに整備されていない。第一優先で整備されたい。

A 折田教育次長 新耐震基準で建設された北加積、東加積小学校、滑川・早月中学校は耐震化の必要がなかったため、大規模改修等も実施していない。しかし、北加積、東加積小学校は建設から相当年数が経過しており、今後、計画的に修繕、改修等の施設の整備を進め、児童・生徒の安全で快適な環境づくりに努めていきたいと考えている。

Q 北陸新幹線開業後の滑川市の観光について

A 石川副市長 新幹線開業後の滑川市の観光としては、春の富山湾を代表する観光は、ほたるいか海上観光であり、富山県が全国に誇る春の風物詩である。来年は3月14日の翌日に特別実施するほか、3月中に8日間、そして例年どおり34日間運航し、「ほたるいかのまち滑川」を全国に発信する予定であり、自然が豊かで、静かで暮らしやすいまちを全国に発信していきたいと考えている。

Q 世界で最も美しい湾クラブに富山湾が加盟した。滑川市もほたるいかミュージアム・海浜公園を活用した取り組みを。

A 石川副市長 市では、富山湾の魅力をアピールするため、県と連携をして、沿岸市町の海にまつわる観光情報を掲載したパンフレットを作成している。最近サイクリストが増えておりバイクラックの設置や修理工具の貸し出し、トイレ・飲料水の提供、観光情報の提供を行うサイクル・カフェにパノラマレストラン光彩を登録した。今後、サイクリストが光彩を利用されると考えている。今後、景観等も含め、環境保全に努めて美しい湾クラブが長く続くように努力し富山湾の美しい魅力を世界に発信していきたいと考えている。

その他の質問事項
Q文化・伝統・郷土芸能の伝承について
Q農業の振興について

代表質問

1 平成27年度予算編成について
2 児童館の建設・整備について
3 並行在来線の新駅設置について
4 中滑川駅周辺整備について
5 滑川駅前市営住宅の取り扱いについて
6 都市計画マスタープランの策定について
7 東福寺野自然公園の改善計画と利用料金の見直しについて
8 みのわテニス村について

（会派＝自民クラブ）**浦田竹昭議員**

Q 平成27年度予算編成の基本方針、並びに主要政策課題について見解を問う。

A 上田市長 限られた財源を重点的・効率的に配分するよう努め、第4次総合計画の着実な推進を図っていく。

Q 児童館の建設・整備の今後の予定、並びに市民からの意見・要望に対する対応・反映について見解を問う。

A 伊東教育長 現在、建物の実施設計に入っており来年度に工事着手予定であり、議会、利用者の方々のご意見を踏まえて検討を加えていく。

Q 新駅設置の候補地の絞り込みと、具現化に向けての取り組みについて見解を問う。

A 小幡総務部長 採算性確保の面から課題があり、現段階において新駅設置はかなり困難と考えている。

Q 中滑川駅周辺の敷地取得に向けての状況と、周辺整備構想について見解を問う。

A 小幡総務部長 市で取得したいと考えており、利活用については、都市計画マスタープラン策定の中で検討する。

Q 滑川駅前市営住宅の移転状況と、今後の跡地利用の再開発構想について見解を問う。

A 砂田建設部長 3月31日までに移転を完了させ、その後建物の取り壊しを予定している。

Q 都市計画マスタープランの策定状況と今後の予定について見解を問う。

A 砂田建設部長 本年度は、全体構想を策定し、27年度は、細かい地域別構想を策定する予定としており、学識経験者、市民団体、関係機関の職員のご意見をいただき、市民意向を計画に反映させていく。

Q 東福寺野自然公園の駅舎付近での駐車場整備について見解を問う。

A 上田市長 駐車場について、パークゴルフ協会の忘年会で、やると言ったのでやる。

Q みのわ温泉テニス村のテニス場屋外トイレの修繕・整備について見解を問う。

A 折田教育次長 トイレ、散水栓、水飲み場、テニスコート付近全体の水道管更新について早急に検討する。

代表質問

1 海岸保安林等の松枯れ被害について
2 米価低下の対策について
3 教育支援について

（会派＝日本共産党議員団）**古沢利之議員**

Q 海岸の保安林等を中心に、松枯れ被害が目立っている。被害の実態について把握しているか。

A 膳亀農林課長 9月に新川農林振興センターと被害状況の確認を行った。全体として、80・45立方メートルの被害を確認した。

Q 被害拡大防止にどう対応するのか。保安林とは指定されていない民有地での対策はどうか。

A 膳亀農林課長 松枯れはマツノザイセンチュウが樹体内に入って発生する。これは松くい虫に寄生して運ばれる。松くい虫が飛散を始める6月ごろまでに枯損木の伐倒を行うため、27年度の県の補助事業の要望を行っている。予防対策として県の補助事業で、薬剤の樹幹注入を1～2月に荒俣地内で予定している。対策は森林簿に登録されているものが対象で、個人の敷地等は所有者で対応を取ってほしい。

Q 米価下落の対策として、「ナラシ対策」は価格が低下した場合、差額の一部を補填するとされている。市内ではどれくらいの生産者が参加しているか。

A 碓井産業民生部長 「ナラシ対策」の加入者は55件、率で7・2％（面積740ヘクタール）である。今年度に限り、非加入者にも一部補填されるので、非加入者556件、73・3％（面積559ヘクタール）を含め、611件に補填されると思う。

Q 補填される金額はどれくらいとみているか。

A 碓井産業民生部長 この交付金は、国が3、農家が1の割合で拠出している積立金から補填される。現時点では加入者が約8千万円、非加入者が約3千万円、合計1億1千万円と見込んでいる。

Q 交付時期を早めるように働きかけてほしい。

A 碓井産業民生部長 「ナラシ対策交付金」は減少影響額が確定後に支払われる。前倒しは難しいと聞いている。

Q 市の奨学資金制度は数年前に給付制から貸与制になった。非正規での就労が増え奨学資金の返済が滞る例が増えていると報じられている。給付制を復活させる考えはないか。

A 折田教育次長 平成24年度から貸与制に変更した。その際、奨学資金の月額を増額した。給付制の時よりも支援できていると考えている。

一般質問

1 介護予防について
2 通学路の安全について

角川真人 議員

Q 現在滑川市では、市内の60歳以上で要支援・要介護認定者以外の方を対象に、「交流プラザいきいきデイサービス事業」を行っている。車を持たない方のためにも実施する場所を交流プラザに限らず各町内、町なかで行うのはどうか。

A 藤田福祉介護課長 移動手段を持たない方に対しては送迎サービスを実施している。今後も市民交流プラザを活用していきたいと考えている。

Q ご近所感覚で参加できるように町なかの空き家を活用することはできないか。民間の介護事業所に補助をすることで取り組みができないか。

A 藤田福祉介護課長 現時点では民間事業所への委託は考えていない。来年度からの第6期介護保険事業計画においては、介護予防の実施方法として、民間事業所に委託して行う通所型サービスやボランティアなどの住民主体の通いの場の創設などを想定している。開催場所、内容については今後民間事業所等と話し合う中で、空き家の活用も視野に入れていく。

Q 民家を改装したデイサービスも増えている。滑川市市街地空き地空き家活用支援事業の対象業種に介護事業も加えるのはどうか。

A 藤田福祉介護課長 福祉関係の事業については別途補助制度があるものもある。当該事業の対象に加えることは難しい。

Q 以前から通学路が暗いという声を聞く。実際に見に行くと電柱が少ないところは街灯が少なく、街灯があるところも主に車道を照らすため歩道側が暗く見えてしまい人が見えづらい。歩道の照明の中には人が通りかかると足元を照らすものもある。こうした照明や街灯の向き、角度について調査や研究を行ってはどうか。

A 坂口学務課長 児童・生徒の通学時の安全確保の観点から、足元を照らす歩道灯は有効だと考えられる。設置に関しては道路管理者等との協議も必要になるため、先進地の事例について調査研究をしていく。

一般質問

1 住宅密集地での除雪並びに排雪対策の拡大を求める
2 プロポーザル方式採用の是非を問う
3 後顧に憂いを残す児童館にならないか
4 人権侵害に対する市長並びに幹部の意識を問う

高木悦子 議員

Q 高齢化による自助の限界と、空き家の増加により共助が成り立たない地域への、公助の必要があるのではないか。

A 岩城建設課長 地域ぐるみ除排雪活動補助金による小型除雪機導入や、除雪ボランティアで対応していただきたい。

Q 住宅密集地域では除雪機では対応出来ない。豪雪時の排雪を含めた支援策を明示できないか。

A 岩城建設課長 軽四トラックによる排雪に協力したいが、豪雪時には除雪体制に余力が無くなる。

Q プロポーザル方式の入札運用ガイドラインを制定しているか。

A 石川副市長 制定していない。

Q ガイドラインの制定と公表を求めたい。

A 石川副市長 今後、専門性など考えられるので、制定について検討したい。

Q 児童館の運動場エリアの泥遊びについて、幼稚園では砂場の砂を消毒したりしている実態を理解しているか。

A 砂田児童館建設室長 安全面について慎重に対策しなければならないと十分認識している。

Q 現在の田んぼの土は入れ替えるのか。

A 砂田児童館建設室長 農薬が残留している可能性があり、土の入れ替えも検討している。

Q 児童館の運動エリアの建物に空調を整備しないのはなぜか。

A 砂田児童館建設室長 全館、空調を整備する方向で考えている。

Q 人権侵害であると認定される基準は何か。

A 小幡総務部長 ある人がそれを不快に思うことが人権侵害である。

Q 学校現場ではどういう状況を人権侵害である、いじめと認識しているか。

A 伊東教育長 本人がそのように感じたときがいじめの兆候であると認識して指導を入れている。

Q 9月議会の「いわゆる浮気で作った子ども40数万人の赤ちゃんが世の中を見ないで処理されている」など市長の発言は、そもそも事実ですらないが、それらが人権侵害に当るという認識はないか。

A 上田市長 人権侵害には当らない。

Q 改めて市長発言の訂正と謝罪を求めたい。

A 上田市長 そう思っていないから訂正しない。

一般質問

1 人口減少対策について
2 市民施策について

開田晃江 議員

Q 滑川市が人口を減らさないための全体的な具体策を。

A 石川副市長 企業誘致政策であったり、子育て支援政策、教育の振興に係る事業、高齢者対策、健康寿命延伸などをさらに強化していく。

Q 合計特殊出生率や出生数の目標は。

A 石川副市長 人口動向の分析、将来人口推計、人口将来展望を行い、合計特殊出生率や出生数の目標を検討することとしており、市ではまだこの作業に取りかかっていない。人口は基本なので本市における地方人口ビジョンを策定することにしている。

Q 子育て応援のため、同居の勧めと応援のためのプレゼント（ナメリカード）の支援は。

A 石川副市長 社会教育の中で、同居の勧めをテーマとして勉強会をするということは非常に大事だろうと思っている。ナメリカードの支援は今後の参考にする。

Q 市長公約にあった中学生のシャンバーグ派遣は、いつ行うか。

A 上田市長 早い時期にやりたいと思っている。シャンバーグ姉妹都市交流委員会との調整もして、今、中身を打ち合わせている。共通テーマを持って進めたい。

Q 平成25年9月議会で可決された高齢者のパークゴルフの利用料値下げは、今後どのようになるか。

A 石川副市長 近隣のパークゴルフ場とバランスがとれている状況である。もう少し状況を注視していきたい。

Q 市の封筒に民間企業の広告宣伝を募集しては。

A 熊本企画政策課長 市民サービスの向上と地域経済の活性化を図るため非常に効果的と認識している。その効果を勘案しながら今後検討する。

Q 滑川市が補助金を出している、室内温水プール、消費税が8％になったことに便乗値上げはいかがなものか。料金設定に市は関与できないのか。

A 上田スポーツ課長 基本的には管理運営主体の体力つくり指導協会のほうで判断される。

Q プール開設から20年、契約の見直しはどうか。

A 上田スポーツ課長 施設の維持管理についてプールの実態等も確認する。

一般質問

1 シャンバーグ市との姉妹都市交流事業について
2 滑川市の住まい・まちづくり計画について

谷川伸治 議員

Q シャンバーグ市との姉妹都市交流事業について、現在どこの部署で検討しているのか。

A 石川副市長 姉妹都市交流事業全般は、企画政策課が窓口として担当。今回は、中学生を中心で考えており教育委員会で検討している。

Q 今後、中学生を対象にした相互交流の方針で事業計画を進めるのか。

A 石川副市長 これからの滑川市を担っていく中学生が中心と思っている。現在、日程と交流内容を含めて詰めている。

Q 交流事業に関し、一過性で終わらせないために受入れ先のシャンバーグ市へ出向き詳細を打ち合わせすべきでは。

A 石川副市長 現在、シャンバーグ市姉妹都市委員の三野和子さんを通じていろいろ連絡をとって進めている。

Q 市営住宅の荒俣、浜町住宅の入居率が100％であるが、定住促進住宅サンコーポラス北野の入居率が40％、吾妻の入居率が50％である。今後の入居の見通しと、入居率を上げるための施策は。

A 児島まちづくり課長 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構による空室修繕の遅れで、3月に募集できず入居率が伸び悩んでいる。広報やホームページで募集を行い入居率向上に努める。

Q 平成19年施行のセーフティネット法（低額所得者、高齢者、障がい者、子育て世帯等に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律）に対し、どのように取り組んでいるのか。

A 児島まちづくり課長 現在管理している市営住宅を活用するとともに、旧雇用促進住宅を取得し定住促進住宅として子育て世帯に利用いただいており、今後も住宅確保要配慮者への住宅の供給に努めていく。

Q 今後、高齢化が進み障がい者対応型住宅への入居希望者が増えると予想されるが、このような要望に対して市営住宅の供給をどうしていくのか。

A 児島まちづくり課長 荒俣住宅の障がい者対応住宅に多くの高齢者が入居、今後高齢者向け住宅が不足すると考えられるが、新規に公営住宅を建設する予定はなく、今後の状況を見守っていく。

一般質問

1 滑川市の観光について
2 安全な通学路について
3 人口増加について

青山幸生 議員

Q 北陸新幹線開業に向けて新たな取り組みはあるか。

A 網谷商工水産課長 ほたるいか海上観光を前倒しして開業翌日の3月15日に運航するほか、貸し切り実施として計8日間を民間の大手旅行代理店へ販売する予定である。

Q 3月議会で質問したキラリンの絵本化について具体的な進捗はどうか。

A 熊本企画政策課長 市民交流プラザで整備をしている子ども図書館の開館記念事業として、来年度作品を公募して、キラリンの絵本の作成を検討している。

Q 深層水トマトやブドウ、リンゴなどの滑川ブランドは将来どのような形で販売していくのか。

A 臨亀農林課長 特産物を本市の観光に結びつけるには、生産量の確保、販路の開拓などの問題がある。今後はレストラン光彩での活用やウェーブ滑川での販売も視野に入れ、観光との両立を目指したい。

Q 除雪計画道路に指定していない通学路は何か所あるか。

A 岩城建設課長 指定していない通学路の数は29路線、延長は約8・2キロメートルとなっている。

Q 今後していない場所はどのようになるのか。

A 岩城建設課長 通学路の検討、選定時において、除雪路線であるか確認して関係機関と調整を図り、安全に通学できるよう努めていきたい。

Q 現在、滑川市における人口増加について取り組みはあるか。

A 熊本企画政策課長 各種子ども施策の実施に加え、定住促進住宅の整備により低廉な住宅環境を整えることで近隣市町村から本市へ転入増加できると考える。

Q 提案した婚姻届け出の冊子、成人式での認識づけ、母子手帳入手時の手厚さ、子ども服のリサイクル検討できるものはあるか。

A 上田市長 提案のいいもの、幾つかある。早速取り入れたい。

議会で提案した、スタイなど

一般質問

1 地域資源を活かしたまちづくりについて
2 教育の向上について

中島 勲 議員

Q 歴史と文化が薫るまちづくり事業が3年計画で実施され今年度で終了するが、ハード、ソフト面の総括について見解を求める。

A 熊本企画政策課長 ハード事業としては、旧宮崎酒造や廣野家などの歴史的建造物の復原工事への補助ということで、今年度を含め5件行った。ソフト事業は、「NPO法人滑川宿まちなみ保存と活用の会」が中心となり整備された歴史的建造物を活用した音楽会やワークショップなどが行われた。これらの取り組みは、多くのメディアに取り上げられたほか、「うるおい環境とやま賞」を受賞するなど、市の観光資源の一つとして大きく寄与している。

Q 歴史的な町並みを都市計画マスタープランにどう位置づけるのか。

A 児島まちづくり課長 平成14年3月に策定した都市計画マスタープランにおいて、歴史的資源を生かした方策に取り組むことにしており、本年度策定中の全体構想の中においても、検討している。

Q 地域おこし協力隊は最初100人程度だったが、今1千人を超え約6割の人が定住している。職員数もぎりぎりであれば、協力隊を募集・採用という考えはないか。

A 熊本企画政策課長 地域協力活動に従事してもらい、あわせて定住を図りながら地域の活性化につなげる制度だが、成功例が大きく取り上げられる一方で、ミスマッチなどによる失敗例も聞かれることから採用の予定はない。

Q 児童に対する文化・芸術に関する事業を今まで以上に充実すべきと思うが。

A 伊東教育長 文化・芸術体験事業としては、各学校で音楽鑑賞会や実技指導等を多彩に実施し、今年は「親子で楽しむ素晴らしい音楽の世界」も実施した。子どもたちが芸術・文化に親しむという文化的体験は、豊かな心を育むとともに、学ぶ意欲を高め人間性を深めるなど大変意義あることと言われており、今後ともこうした事業を推進することとしたいと思っている。

一般質問

1 公会計について
2 人事制度について
3 安心・安全なまちづくりについて

尾崎照雄 議員

Q 固定資産台帳の整備についてこれまでの取り組みと今後の対応は。

A 杉田財政課長 平成27年度から29年度までの3年間の間に、地方公会計の統一的な基準に基づいた財務書類を作成するようにと聞いている。国からの要請内容を検討して、ストックをはっきりさせるために固定資産台帳の作成に着手したい。

Q 財務書類が統一基準モデルで作成し直しになるが、目的はどう認識しているのか。

A 杉田財政課長 自治体間で比較検討することによって本市の位置がわかるので、統一は前々から願っていた。今後、住民にも見える会計は非常に重要だと思う。

Q 総務省より公共施設等総合管理計画の策定要請が出されたが、取り組み状況と今後のスケジュールも含め見解は。

A 杉田財政課長 国の指針では社会インフラを全て含むことがうたわれており、固定資産台帳をしっかりしたうえでないと管理計画もつくれないので、ここ2、3年をかけてじっくりとした計画をつくっていきたい。

Q 今後の再任用制度について当局の考えは。

A 岡本総務課長 平成23年度から再任用制度を利用しており、急激な年齢構成の変動に対応するためにやってきた。平成23年度で3名、24年度で1名、25年度で4名の職員の再任用で活用している。

Q 再任用制度を含めた人事制度設計を要綱に定め、職員または市民へ開示することが求められていると思うが見解は。

A 岡本総務課長 平成13年度に再任用に関する条例を定めており、それに基づいて運用している。細部の要綱等については条例のほうでも若干定めているので、今のところ考えていない状況である。

Q コンビニへのAEDの設置を推進し、市民の身近な安心の利活用を推進してはどうか。

A 濱谷消防署長 AEDの設置については、法律において義務化されていない。コンビニでの設置の必要性は理解しているが、設置については各事業所において必要性を判断し、自主的に設置することを期待している。

一般質問

1 土曜授業について
2 子ども図書館について
3 地域防災対策について

水野達夫 議員

Q 土曜授業の成果と課題はどのようなものが挙げられるのか。

A 坂口学務課長 成果は、平日のあいた時間を研修・個別指導等に活用することができた、地域人材を活用した特色ある授業を実施することができ、児童・生徒の充実感の向上につながった等が挙げられる。課題は、教職員の負担感の増加、市外での大会等の日程調整が困難なこと等が挙げられる。

Q 土曜授業に関するアンケート結果をホームページ等に公表してほしい。

A 坂口学務課長 検討して前向きに考えたい。

Q 次年度以降の実施予定はどうか。また、県内のほかの市町村がどのような対応をされるのか。

A 坂口学務課長 アンケート結果を分析して、効果と課題を明らかにした上で、学校や各種団体とも協議を行い、課題への対応も検討した上で決定してまいりたい。また、現在、土曜授業を予定している県内他市町村は聞いていない。

Q 子ども図書館のオープンはいつか。また、職員等の人員配置はどうなるのか。

A 上坂生涯学習課長 オープンは、3月下旬予定である。職員は、図書館司書2名程度、保育士3名程度を配置する予定である。

Q 以前、交流プラザ2階で勉強していた特に高校生の居場所は今後どうなるのか。

A 上坂生涯学習課長 高校生の学習場所は、従来どおり、市立図書館の学習室等を利用していただきたいと考えている。

Q 地域での防災意識の啓発に防災士を活用する仕組みづくりが必要ではないか。

A 岡本総務課長 今後、防災士を活用できる仕組みづくりを検討し、地域における防災対策に努めていきたい。

Q 地域の安全を守るために、「自助」と「共助」の間に「近助」の仕組みが不可欠ではないか。

A 岡本総務課長 向こう三軒両隣が助け合っていくという考え方は大変重要なことであると考えている。

その他の質問事項
Q職員のメンタルヘルス及び採用計画について

委員会

12月定例会の委員会の審査から

12月定例会の各常任委員会では、付託された議案について慎重に審査が行われました。主な項目等は次のとおりです。

■総務文教委員会

審査議案は1議案であり、議案は原案のとおり可決しました。

▼議案第64号　平成26年度滑川市一般会計補正予算（第4号）

■民生環境委員会

審査議案は4議案であり、議案はいずれも原案のとおり可決しました。

▼議案第64号　平成26年度滑川市一般会計補正予算（第4号）

▼議案第65号　平成26年度滑川市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

▼議案第68号　滑川市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第69号　地方自治法第179条による専決処分の承認を求めることについて

■産業建設委員会

審査議案は3議案であり、議案はいずれも原案のとおり可決しました。

▼議案第64号　平成26年度滑川市一般会計補正予算（第4号）

▼議案第66号　平成26年度滑川市下水道事業特別会計補正予算（第1号）

◆議案第67号　平成26年度滑川市水道事業会計補正予算（第1号）

■決算特別委員会

審査議案は9議案であり、原案のとおり可決または認定すべきものと決定しました。

▼議案第49号　平成25年度滑川市一般会計歳入歳出決算認定について

▼議案第50号　平成25年度滑川市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

▼議案第51号　平成25年度滑川市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について

▼議案第52号　平成25年度滑川市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

▼議案第53号　平成25年度滑川市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

▼議案第54号　平成25年度滑川市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

▼議案第55号　平成25年度滑川市工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について

▼議案第56号　平成25年度滑川市水道事業会計決算認定について

◆議案第57号　平成25年度滑川市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

なお、今後改善を求める事項については、次のとおりです。

【歳入】

1　市税等徴収対策室を有効に活用され、税や使用料、家賃などの収納率向上対策が図られていることから、その努力に敬意を表するが、口座振替の促進や連帯保証人制度を効果的に活用するなど、さらなる収納率の向上を図られたい。特に、悪質な案件については、預貯金はもちろんのこと、生命保険、給与、動産、不動産などの差押えなどの法的措置を含めて引き続き厳正に対処されたい。

2　不納欠損とならないよう初期段階からの徴収や分割納付の徴収に努力されているところだが、特に固定資産税の滞納についてはその内容を精査すること。

3　起債残高が増加傾向にあるので、滑川市健全な財政に関する条例に基づき、公債費負担比率などの財政指標を念頭において、中・長期的な財政運営に努められたい。

【歳出】

1　全般的に多額の不用額が発生しているが、予算要求時において前年度の不用額の内容を検証し、また、工事費の算出においては担当部署等との協議を厳重に行うなど、新年度予算に反映されたい。

2　燃料費や光熱水費の量的支出が適正に行われているか、無駄がないかの判断は金額だけでは把握できないので、購入量、消費量といった数量の把握を行うとともに、コスト削減や省エネ対策に努められたい。

3　愛市購買の観点から、全庁及び関係機関の各種物品等の購入及び工事等の発注にあたっては、地元業者を最優先されたい。

4　職員研修費について、執行率が低い。特に若い職員が積極的に研修等に参加できる体制づくりや雰囲気づくり、研修期間中の執務分担等の配慮が必要とも思われる。さらなる研鑽のためにも、努力をされたい。

5　公共施設の維持管理には今後多額の費用が必要であることから、委員会を設置し検討されているところであるが、タラソピアやみのわテニス

村など、全ての公共施設を対象に統合、廃止（売却）も視野に入れ、早急に見直しをされたい。また、指定管理についても経営状況・施設の運営状況を正確に把握されたい。

6　近年の土地利用の変化を把握するため、固定資産税評価替え業務等に利用する航空写真撮影を早急に実施するよう検討されたい。

7　がんなどの病気の早期発見・治療のため、特定健診やがん検診等の受診率向上について、引き続き努力をされたい。

8　生活保護費、扶助費について、対象者の審査を適正に実施されたい。また、自立を目指す就労支援等に努力されたい。

9　薬のまち滑川がさらにイメージアップされるよう、先用後利の伝統である配置薬業の活性化のため、支援に努められたい。

10　早月川水系の水資源保全の観点から、さらなる水質監視システムの強化を図られたい。

11　公園維持管理業務に関して、樹木の成長に見合った管理を実施し、長期継続契約も視野に入れた体制の整備を検討されたい。

12　小中学校の備品・学校図書等の充実に引き続き努められたい。

13　就学援助について、保護者への制度の周知を図り、必要な援助が適切に受けられるよう努められたい。

14　小中学校の樹木管理費用は、原則定額での年間管理費として支出されている。各小中学校の樹木の状況に応じて、全額市の負担として管理されたい。

15　「立山黒部ジオパーク」が日本ジオパークとして認定されたことでもあり、これまで以上に文化・伝統・郷土芸能を伝承するため、保存会等の育成や活性化に支援されたい。

16　滑川室内温水プールの市民サービスとして、保育園・幼稚園児等の無料化など、入館料の見直しについて働きかけられたい。

第3回臨時会の委員会の審査から

第3回臨時会の常任委員会では、付託された議案について慎重に審査が行われました。主な項目等は次のとおりです。

■総務文教委員会

審査議案は2議案であり、原案のとおり可決しました。

◆議案第62号　滑川市の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

◆議案第63号　地方自治法第179条による専決処分の承認を求めることについて

公共施設のあり方検討特別委員会行政視察（10月21日～22日）

◆愛知県高浜市（公共施設のマネジメントについて）

◎高浜市では、多くの公共施設が、近い将来、一斉に更新する時期が到来し、すべての公共施設を維持し続けることが困難なことなどから、平成23年度に現状や課題等をとりまとめた高浜市公共施設マネジメント白書を作成し、平成24年度には高浜市公共施設あり方検討委員会を組織、平成26年6月には高浜市公共施設あり方計画(案)を作成している。検討した結果、高浜市が目指すのは、「現行ある施設以外に新しい公共施設はつくらない」という考えで、「学校」を地域コミュニティの拠点として位置づけ、他の施設との複合化を視野に入れて施設の改修・建て替えを実施する予定としている。

また、民間の活用や統廃合により、40年間で対象施設78のうち41施設を削減し、252億円の削減を目標としている。市役所本庁舎も耐震化がされていないため、施設保有形態を見直し、市庁舎などの施設を民間事業者から賃借する方法を予定している。その削減した経費は、公民館や図書館などを複合化した小学校の建て替えに充てる予定としている。

◆岐阜県郡上市（第3セクターの経営について）

◎郡上市では、昭和62年に国名勝「東氏館跡庭園」に指定されたことや薪能の上演などを町の個性とし、古今伝授の里づくりがはじまった。平成5年に事業費11億円で古今伝授の里フィールドミュージアムを開園。平成11年に事業費7億5千万円でやまと温泉やすらぎ館、平成13年には5億7千万円で道の駅古今伝授の里やまと、平成17年に5千万円でぎふ大和PAにサービス施設をオープンさせる。東海北陸自動車道ぎふ大和ICの開発整備負担金の償還のために第3セクターとして、郡上大和総合開発株式会社を設立し、それぞれの施設を運営、その収益を6億900万円の負担金の償還に充て、残金2千800万円までになった。経済効果は約13億円、交流人口は87万人となり、

若者、女性、地元商工業者、農業者の働く場所、市場をつくり、暮らし続けられるまちを実現させた。

並行在来線等問題特別委員会行政視察
（10月27日～28日）

◆ＩＧＲいわて銀河鉄道株式会社
（運営状況等について・ＩＧＲ地域医療ライン乗車）

◎ＩＧＲいわて銀河鉄道は、東北新幹線盛岡～八戸間の開業に伴い、ＪＲ東北本線を引き継ぎ、平成14年12月1日に開業した第三セクター方式の鉄道会社である。沿線には県庁所在地で人口30万人の盛岡市、5万人の滝沢市など、計41万人が生活しており、通勤・通学・通院をメインとした「生活路線」としての役割が大きい。

駅の体制は、運行区間は82キロメートル、17駅であり、そのうち有人駅が6駅、委託駅が9駅、無人駅が2駅である。

輸送人員（一日平均）は、平成25年度は合計1万4千347人で、開業当初平成15年度の1万4千352人と同程度である。輸送人員に差はないが、運賃の値下げや人の動きが近距離の動きになっている関係から単価が下がり、平成25年度の旅客運賃収入（15億7千100万円）は平成15年度（21億5千500万円）から約6億円減少している。

【経営状況】

平成14年度は開業準備に要する費用等があり、3億5千800万円程の赤字からのスタートであった。平成17年度からは少しずつ黒字を続けたが、平成22年度には東日本大震災の影響で赤字に陥った。その後、23、24年度では億単位の黒字を計上し、平成24年度に初めて累積赤字を解消し累積黒字になった。一方、平成25年度には台風18号により3～4億程の被害を受けたが、黒字を維持できた。

【課題と対策】

沿線人口が減る見込みであり、輸送人員と旅客運輸収入の減少が課題である。対策として鉄道の商品開発や関連事業の拡大に取り組んでいる。

【ＩＧＲ地域医療ライン】

高齢化社会を迎え、地域医療だけではなく、盛岡の総合病院を受診する方が増加していることから、ＩＧＲいわて銀河鉄道では、高度医療を受診される方をサポートする総合通院サービスとしてＩＧＲ地域医療ラインを行っている。

議会放送と録画放送等のご案内

市議会定例会の本会議の様子は、ケーブルテレビ121チャンネル（アナログは8チャンネル）で、生放送及び録画放送を実施しております。

次回の市議会定例会の本会議の放送は、3月に予定しておりますので、是非、ご視聴ください。

なお、定例会の日程及び放送時間等については、市広報（3月号）・ケーブルテレビ等を通じてご案内します。

議会報編集委員会から

「市議会だより」について、皆さんのご意見をお寄せください。

市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送しておりますが、議場で直接、傍聴してみませんか。

詳しくは、事務局までご連絡ください。

電話475―2111（内線371）

議会報編集委員

高橋久光委員長　谷川伸治副委員長
角川真人委員　竹原正人委員
尾崎照雄委員　中島　勲委員

12月定例会での①議員提出議案、②意見書提出要請、③要望書について

件名及び提出者　　処理結果

① 議員提出議案（３件）

1 議員提出議案第４号　議会の権限に属する事項中市長の専決処分事項の指定について
……本会議結果＝可決
滑川市議会議員　髙　橋　久　光　　外５名

2 議員提出議案第５号　滑川市議会傍聴規則の一部を改正する規則の制定について
……本会議結果＝可決
滑川市議会議員　髙　橋　久　光　　外５名

3 議員提出議案第６号　国民健康保険の国庫負担の引き上げを求める意見書
……本会議結果＝可決
滑川市議会議員　古　沢　利　之　　外13名

② 意見書提出要請（２件）

1 難病医療法における助成対象の拡充を求める意見書……議会運営委員会不一致
新川・生活と健康を守る会準備会　代表　稲　村　　功

2 国民健康保険の広域化に反対し、国庫負担の引き上げを求める意見書　……議会運営委員会不一致
新川・生活と健康を守る会準備会　代表　稲　村　　功　　（議員提出議案第６号へ）

③ 要望書（４件）

1 要望書（公共施設等における木材の利用促進について）……全議員へ参考配付
富山県木材組合連合会　会長　西　村　亮　彦　外３団体

2 横田めぐみさん拉致事件に関する陳情……全議員へ参考配付
日本軍海兵隊　片　木　　豊

3 要望書（魚津市鹿熊地内の養鶏場建設に反対する声明）……全議員へ参考配付
滑川市早月加積地区自治会連合会　会長　梅　次　直　樹

4 要望書（平成27年度滑川市行政施策に対する要望について）……全議員へ参考配付
滑川商工会議所　会頭　斉　藤　慎　一

12月定例会での本会議の結果について

議案内容等　　採決結果

◎議案第49号～議案第57号……原案認定・可決（賛成全員）
平成25年度滑川市一般会計歳入歳出決算認定について　外８件

◎議案第64号～議案第69号……原案可決・承認（賛成全員）
平成26年度滑川市一般会計補正予算（第４号）外５件

◎議案第70号……原案同意（賛成全員）
滑川市公平委員会の委員の選任について

◎議員提出議案第４号～議員提出議案第６号……原案可決（賛成全員）
議会の権限に属する事項中市長の専決処分事項の指定について　外２件

第３回臨時会での結果について

議案内容等　　採決結果

◎議案第62号～議案第63号……原案可決・承認（賛成全員）
滑川市の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について　外１件